

## 平成28年度事業報告書

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

特定非営利活動法人 山元・あしたの響き

### 1 事業の成果

東日本大震災に関わるメモリアル事業で、当法人設立の動機となった深山(しんざん)鎮魂の鐘の建立は、平成27年4月にひとまず完了したが、その後のブログによる広報活動や口伝などにより、地元はもとより全国から多くの来訪者があり、鐘を鳴らして犠牲者を偲び、巨大津波の恐怖の思いを新たにしている。

また地元山下小学校の恒例全校登山に加え、山元町支援学校でも恒例登山を行うことになり、心身に障害のある子供たちの新たな楽しみ、新たな活動の場を提供することにもなった。

個人的な例としては、何度も大きな病に倒れたというある高齢者が、深山登山に挑戦を始め、ほぼ毎日鐘を鳴らしに訪れ、健康回復に効果を得ているなど、被災者の心のよりどころとしての役割も果たすようになった。

訪れた人々は一様に鎮魂の鐘のテラス上で記念写真を撮るなど、山元町に少ない観光地としての役割も果たすようになったので、平成28年12月、5年9か月ぶりに運転再開したJR常磐線の山下・坂元両駅前の案内板にも、当鎮魂の鐘が写真入りで紹介されている。(※参考写真)

さらに、環境省主導の「みちのく潮風トレイル」の山元町ルートも、四方山から深山頂上までの尾根道ルートが確定したが、深山頂上の当鎮魂の鐘の存在が決め手となったと考えられる。

### 2 特定非営利活動に係る事業に関する事項

本年度は特に大きな催事は行わなかったが、「深山鎮魂の鐘」が一層親しまれやすくなるよう、遊歩道の整備や頂上からの景観の改善等に努力し、訪問客の便宜にも役立つよう心掛けた一年であった。

- ① 平成28年5月23日～6月8日 深山頂上に脚立を担ぎ上げ、鎮魂の鐘のメンテナンスと改善のため、以下の作業を行う。またこれに関わった延べ人員は12人ほどであった。
  - a. 鐘の振り子の基部にグリスを注入し異音の発声を防ぐ。
  - b. 吊天井部の鉄骨露出部分にトリカルネット及び造花のツタを貼付けて全体的美観を改善。
  - c. 深山頂上直近の坂道を含む遊歩道の草刈り3か所。
  - d. 頂上さくら平のサクラ数本の天狗巣病改善作業、及び眺望改善のための杉の枝払い作業。
- ② 平成28年7月14日、深山頂上あずまや内の「深山ノート」を新規にする。
- ③ 平成28年8月11日～8月14日 深山より尾根道伝いに南下した馬船峠近く、通称「カオルの見晴らし台」の眺望改善のため、ブッシュの刈込み作業を行う。延べ人員2人。
- ④ 理事長・長岡の撮りためた山野草の写真を基に、《ブログ あしたの響き》上で、「深山の植物」の紹介を始める。最初はクルマユリから。
- ⑤ 平成28年9月3日、台風10号通過後の山が心配で登頂、3か所で倒木処理をする。
- ⑥ 平成28年10月3日、鎮魂の鐘テラス上の古い箒を、ちりとり付きのセットと交換。コンクリート釘をもってフックとし、紐で固定、風で飛ばないようにする。また、鎮魂の鐘訪問記念スタンプのスタンプ台およびカードを新品と交換。
- ⑦ 平成28年10月21日、地元山下小学校の全校登山(195名)あり、当法人より3名、他ボランティア1名の参加で児童生徒たちの保護にあたる。また渡邊校長に全児童分の鎮魂の鐘訪問記念カード(一回分スタンプ済みもの)を手渡す。(※添付写真参照)
- ⑧ 平成28年10月23日、山元町つばめの杜街びらきを写真取材、ブログに載せる。
- ⑨ 平成28年11月23日、町生涯学習課主催の「紅葉の深山に登ろう」に参加、写真撮影協力する。参加者70数名。
- ⑩ 平成29年1月6日、「深山を愛する会」の日下氏より、涸沢コースにあるはずの「線刻観音像」が見当たらないと連絡あり、長岡理事長と一緒に登ったところ、前倒しに倒れていることがわかり、二人で修復作業をする。
- ⑪ 平成29年2月13日～2月31日、過日の山下小学校全校登山の写真を基に、A3額縁付きの贈呈用記念写真を10セット制作、高額寄金者のうち、まだ贈呈の済んでいない町内の個人8

名にお届け、町外の個人2名に郵送する。

- ⑫ 平成29年3月5日、環境省主導の「みちのく潮風トレイル」の山元町コースに、四方山から深山までの尾根道コースが決まったことに伴い、このコースの状況を知るべく、理事長・長岡が深山頂上から往復2万歩踏破する。峰道としては結構踏みならされていて良好だが、今後眺望改善が望まれる。
- ⑬ 平成29年3月11日、東日本大震災6周年の今日、深山鎮魂の鐘を訪れる人多し。遠くは寒河江市から。特に催事は設けなかったが、午前中だけで50名ほどの来訪あり。
- ⑭ 平成29年3月12日、町生涯学習課の催事「早春の深山に登ろう」に参加、写真撮影に協力する。参加者75名。(※添付写真参照)
- ⑮ 平成29年3月21日、
  - a. 4月16日に予定の催事「春・深山の鐘を鳴らそう」が、山元町教育委員会の後援を得られることとなり、本日午前中、少年の森・中央公民館・勤労青少年センター・坂元支所、合わせて4か所に、あらかじめ用意したポスターを掲出する。
  - b. 山元町災害FMりんごラジオが今月末で閉局が決まったのに伴い、開局6周年の今日、あいにくの雨の中、午後から深山鎮魂の鐘で最後のインタビューを受ける。病み上がりの高橋局長も登頂。長岡理事長のほかボランティア4名の応援で登る。テレビ朝日と東日本テレビの取材クルーを伴ったが、結局この取材は、りんごラジオ閉局の様子を取材するテレビ局への協力でもあった。

### 3 その他の事業の実績

前年度同様、当年度もその他の事業は一切行わない。

### 4 実施体制等に関する事項

- (1) 会計監査：平成28年5月9日午後3時より、事務局において監事2名を中心に会計監査を行い、前年度の財務管理等すべてにおいて疑義無しと認められる。
- (2) 通常総会：平成28年5月14日11：00より、丸森町あぶくま荘で開催
  - ・出席者等 正会員総数15名中8名出席
  - ・議事内容
    - a.平成27年度事業報告・決算報告の承認、及び監査報告
    - b.平成28年度事業計画・活動予算の承認
    - c.役員改選 任期満了に伴う改選が行われ、本人希望による理事1名の退任以は全員役員再任と認められ、また各役員もこれを承諾した。
- (3) 臨時総会：平成28年8月27日13：30より、深山山麓少年の森研修室にて開催
  - ・出席者等 正会員総数17名中10名出席
  - ・議事内容
    - a.新正会員2名が理事に推薦され、満場一致で承認、同時に同2名の承諾を得た。
    - b.従来会計事務所と税理士に依頼していた会計事務を、会計ソフトの導入により事務局で行うこととなる。
- (4) 第1回役員会：平成28年11月26日13：30より、深山山麓少年の森研修室にて開催
  - ・出席者等 役員総数11名中6名出席
  - ・議事内容
    - a.理事長より「鎮魂の鐘登山」というような催事をすべきであると提案あり、平成29年4月16日(日)を目途に開催することとなる。
- (5) 第2回臨時総会：平成29年1月28日11：00より、レストランわか菜にて開催
  - ・出席者等 正会員総数16名中12名出席
  - ・議事内容
    - 4月16日(日)の催事名は「春・深山の鐘を鳴らそう」とし、町の教育委員会の後援を得て行うものとする。深山頂上で黙祷・各自打鐘を終えて下山後は、少年の森広場で豚汁とポップコーンを振る舞う等が議決された。
- (6) 会員に関する事項：平成28年度末現在、正会員16名、賛助会員個人3名、同法人4件
- (7) 役員に関する事項：平成28年度末現在、理事9名、監事2名、理事長・長岡久馬
- (8) 情報発信体制に関する事項：《ブログ あしたの響き》<http://blog.canpan.info/asitano-hibiki/>
- (9) その他：平成28年8月1日の町名地番変更に伴い、平成28年9月5日、仙台法務局において、理事長自宅兼事務局の町名地番変更登記を行う。

## 山下駅前案内板



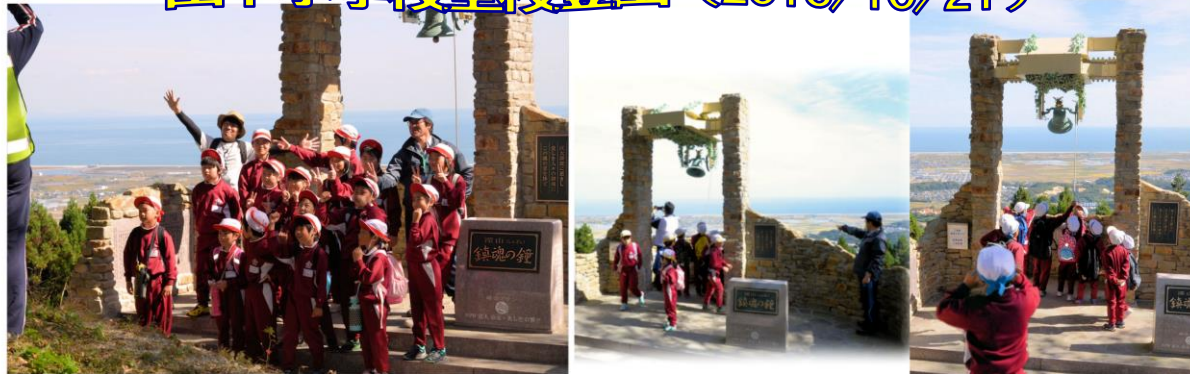
③ 深山「鎮魂の鐘」(現在地から約1.9km+登山片道1時間)  
Mt. Shinzan "Bell of the Requiem"

震災により亡くなられた  
方々の冥福を祈るととも  
に、災害に対する警戒心を  
風化させないよう町内の  
NPO法人が深山山頂に建立  
したもの。初日の出スポット  
としてもおすすめです。

展望



山下小学校全校登山 (2016/10/21)



生涯学習課主催・早春の深山に登ろう (2017/3/12)

